

環境振動設計指針策定 WG 2016 年度第 7 回 議事録 (案)

A. 日 時 2016 年 12 月 20 日 火曜日 17:30～20:00

B. 場 所 建築学会 202 会議室

C. 出席者 濱本主査 他 11 名

D. 提出資料 (提出委員名)

No. 8-0 環境振動設計指針策定 WG 2016 年度第 6 回議事録(案)

--- 以下は委員会用オンラインストレージに格納 ---

No. 8-1 第 35 回環境振動シンポジウム原稿(12/20 版)

0. 主旨説明 (国松)
1. 環境振動設計の考え方 (濱本)
2. 風振動 (鈴木)
3. 歩行振動の性能評価 (井上) ……国松 OS より受領
4. 評価軸の概要－交通振動 (松本)
5. 外力軸と設計の概要 (風振動) (小田島)
6. 外力軸と設計の概要 (歩行振動) (片岡)
7. 外力軸と設計の概要 (交通振動) (東田)

E. 議事内容

1. 議事録(案)の確認 (資料 No. 8-0)

○下記 2 点の修正を行うこととなった。修正後、案をとって議事録とする。

- ・議事 4 の 7 行目: 「時間効果の影響について」の文言を削除。
- ・議事 6 の 10 行目: 「地盤増幅」を「地盤伝播特性」に修正。

2. シンポジウム原稿の確認 (資料 No. 8-1)

○シンポジウム検討 WG に提出された原稿について意見交換が行われた。原稿の修正や当日の発表に関わる内容を以下に示す。

環境振動の考え方 (濱本) について

- ・図 4 や図 11 において、応答の評価や計測を行う位置を「床中央」に限定する必要はないと思われるため、表現の見直しを含めて再検討する。
- ・図 6 の「作用時間」は評価 WG にあわせて「継続時間」に変更する。
- ・図 6(b)の縦軸は「応答加速度」とする。

外力軸と設計の概要（風振動）（小田島）について

- ・当日の発表では、性能ランクだけでなく風外力の入力レベルも設計者が決定すること、ホテルは住宅系に含まれることを説明に加える。

外力軸と設計の概要（歩行振動）（片岡）について

- ・歩行 SWG のメンバーに片岡委員が入っていないので追記する。

外力軸と設計の概要（交通振動）（東田）について

- ・1 頁目 21 行目の「敷地境界線上」は「振動源側の敷地境界線上」とする。
- ・2 頁目 12 行目の「増大係数 n_i 」の i が入力レベルを決定する再現期間(日)を表していることを追記する。
- ・図 4.3.1(b)の下の【推奨ランク】という文言を削除する。
- ・5 頁目 6 行目の「地盤振動とほぼ同じであるため……一律 1.4 倍 (+3dB) としている。」の一文は意味が通じないため修正する。
- ・図番号が-(ハイフン)で繋がれているので、.(ドット)に変更する。

全体を通して

- ・性能マトリクスの性能ランクは「斜めのライン」ではなく「斜めの帯」と表現する。
- ・居住性能評価指針は 1991 年版を「旧指針」、2004 年版を「現指針」、これから発刊されるものを「新指針」と呼ぶ。
- ・評価 WG の原稿 3 編について、タイトルを「評価の概要 (○○○)」とする。図番号は 3. ×. □ (×は風振動は 1, 歩行振動は 2, 交通振動は 3) とする。
→修正は国松 OS からシンポジウム検討 WG の富田主査に依頼する。

3. その他

○環境振動シンポジウムの修正原稿について

- ・12 月 22 日(木)までにシンポジウム検討 WG 主査の富田先生まで提出する。

○次回 WG 開催予定：2017 年 3 月 14 日（火）17:30～19:30

以上